

# 事業所における自己評価表(公表)

事業所名 匠瑛市マザーズホーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	7	2		・体育館の利用やプログラムの工夫。	・親子参加の為、人数によっては狭い時もある。場所やプログラムの内容を工夫しながら実施する。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	2		・教室を2つ稼働する曜日は、人手がもう少し欲しいところではある。	・教室を2つ稼働する曜日は、人手がもう少し欲しいところではある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5		・体温調節が難しい利用者も多いので、空調は気になる。手作りの網戸で頑張っているが、できれば網戸があるといい。	・バリアフリー化だけでなく、網戸の設置や、建物の老朽化に伴う雨漏りについても修繕の要望を伝えて行く。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			・毎日、振り返りを実施。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			・年に一度、評価を実施し、市のHPで公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			9		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	5		・オンラインは可能だが、対面はコロナ禍なので難しい。 ・コロナ禍で外部の研修への参加は減少してしまっているが、内部での勉強会は常時行っている。	・オンライン研修等への参加。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9				
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9				
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			・月一度のスタッフミーティング等で話し合いを行っている。	
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			・お楽しみ活動に全員が参加できるように曜日等、工夫している。	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9				
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9				
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				
	⑲	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9				
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援の為に、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1		・囁託医が保育所へ出向している。	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	2		・くろみ教室は、医療的ケア児も受け入れをしている。見学時初回に、囁託医と話をしてもらっている。(今年度該当児なし)	・今後も広く医療的ケア児の受け入れをしていきたい。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			・情報提供書を作成し、入園の際に園に渡している。又、事前に園との話し合いの場を持つなどしている。	
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			・情報提供書を作成し、入学の際に学校へ渡して貰っている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	6	1		・今年度新たに事業所連へ加盟したので、機会があれば研修を受けたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	5	・基本的に通園している利用者が多いので、マザーズ以外の日は、常に活動を共にする機会はある。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		1	・毎年、療育部会へ参加している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	1		・親子通所の為、生きた現場で親が子への関わりを学んでいる。今後も子供への関わり方等のアドバイスを継続して行く。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ばばママタイムを実施(毎日)</li> <li>• CHAWA 会の実施(年4回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後も、ばばママタイムや CHAWA 会への参加を呼びかけて行く。</li> </ul>
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 場合によっては、すぐに面談等の配慮を行っている。</li> </ul>	
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人の会報誌は年3回発行され、各家庭に配布している。</li> <li>• 月初めにお便りを配布している。</li> </ul>	
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	9				
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか			9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域住民の招待は行わないが、随時見学、体験は受け付けている。その他、市内幼保機関の先生方へ向けて、公開療育を実施している。</li> </ul>	
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9				
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				
	④⑫	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	1			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報は把握しているが、基本的に弁当持参であるため、事業所から提供する事はない。また、他の利用者の食べ物にも注意し、誤って口にしまうことが無いように気を付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後も誤食等の事故が起こらないように注意する。</li> </ul>
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9				
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者本人または他の利用者の生命・身体が危険にさらされる可能性が著しく高いと判断した場合、一時的に動きを制することや、抱える等の対応をとる可能性がある旨を保護者へ伝え、理解を求める。</li> <li>• 今後、上記内容を支援計画書にも掲載をする。</li> </ul>